

各位

弊社がロシュ・ダイアグノスティクス様へ納入し、現在日本赤十字社様の全国3カ所の NAT センターで稼働している自動遺伝子検査装置「GT-X」について、CMC 出版社発行の「バイオインダストリー 2004 年 8 月号」に掲載された記事の中で紹介されました。

以下 CMC 出版社 HP よりの抜粋

URL: <http://www.cmcbooks.co.jp/magazine/bio/bioback/bioback0408.html>

BIOINDUSTRY バイオインダストリー 2004/AUG



特集: バイオ・医療を志向する次世代の磁性微粒子

< 基礎編 >

磁性微粒子を用いた診断技術開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

磁性微粒子を用いた診断技術開発

- PCR 法による献血血液のスクリーニング検査 -

Molecular Diagnosis with Magnetic Micro Particles

玉造 滋 Shigeru Tamatsukuri ロシュ・ダイアグノスティクス(株)

MD 事業部(遺伝子診断製品) 遺伝子診断開発部 部長

1999 年 10 月、日本赤十字社における献血血液のスクリーニング検査に NAT(核酸増幅検査)が導入された。抗原・抗体検査に加え、ウイルスのゲノム核酸を検出することでウィンドウ期を最小限に縮めうようになった。筆者らは、世界で初めて 3 種類のウイルスの自動 NAT 検査を実現したが、検体からのウイルス核酸抽出には磁性粒子を使った方法が実用化された。

～ 目次 ～

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. はじめに | 6. Multiplex 検出 |
| 2. NAT のルチン化のために | 7. 実際の NAT 検査の成績 |
| 3. 磁性ビーズによる核酸抽出・精製 | 8. 磁性ビーズを選択するに当たって |
| 4. リアルタイムタックマン PCR | 9. おわりに |
| 5. 内部基準, IC | |